



みやこ



消防出初式 模範ポンプ操法

消防出初式を1月14日に犀川支所前
において開催しました。

《もくじ》

- *12月定例会の結果報告…………… 2~4P
- *議会の活動報告…………… 5~7P
- *10名の議員が町政を問う…………… 8~17P
- *豊津小学校・節丸小学校の
子どもたちが議会を傍聴…………… 18~19P
- *町内の頑張っている団体を紹介…………… 20P

平成28年第7回定例会を12月2日から12月16日までの15日間にわたり開催しましたので、その議決結果について報告します。

平成28年第7回定例会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名	肥喜里雄二	吉竹次男	橋本真助	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	金房眞悟	浦山公明	柿野義直	上田重光	熊谷みえ子	中尾文俊	中尾昌廣	議決結果
みやこ町課設置条例の一部を改正する条例の制定について（継続審査分）		○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	可決
権利の放棄について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町税条例等の一部を改正する条例の制定について（議案第73号）																	原案撤回
みやこ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町児童遊園条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度みやこ町一般会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度みやこ町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度みやこ町水道事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町税条例等の一部を改正する条例の制定について（議案第80号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町税条例の一部を改正する条例の制定について（議案第81号）		○	●	○	●	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	●	可決
民生委員の活動費に関する改善を望む意見書(案)について																	継続審査
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書(案)について		○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対。

平成28年第6回臨時会を10月12日に開催しましたので、その議決結果について報告します。

平成28年第6回臨時会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名	肥喜里雄二	吉竹次男	橋本真助	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	金房眞悟	浦山公明	柿野義直	上田重光	熊谷みえ子	中尾文俊	中尾昌廣	議決結果
工事請負契約の締結について（中村・向河内線道路新設工事（1工区））		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
工事請負契約の締結について（中村・向河内線道路新設工事（2工区））		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成。



議案に対する討論



みやこ町課設置条例の一部を改正する条例の制定について（継続審査分）

反対 行政改革、機構改革は進めるべきであり、そのことに反対するものではない。

しかし、突如、犀川支所は中央公民館、豊津支所は、すどりの里との話が出た。あわせて、29年の4月に実施との報告があった。住民への周知徹底、そうした経過措置が必要だ。その措置すら考えていないこの議案に反対するものである。

賛成 職員定員適正化計画において、退職者の3分の1程度の採用にとどめることにより全体の職員数は削減され、本年度当初には184名となっている。

このことから、今年の1月4日に本庁機能強化を行い、効率的な行政運営に取り組んでいるが、平成28年度から地方交付税の段階的減額開始となり、最小の職員で最大の効果が求められることは、紛れもない事実だ。

今回の機構改革にあたって、住民サービスの低下とならないよう、各課の業務内容の周知や、交通弱者対策としてのデマンドタクシーの運行等を求める。

今後、本町の実情に即した組織の見直し、アウトソーシングの推進、各種施設の統廃合の検討等を行い、組織の簡素化と効率化を図り、地域住民の福祉の向上に務めることが重要課題

と考え、原案に賛成する。

賛成 最小の経費で最大の効果を上げることが基本理念である。地方創生を推進し、事務事業に後れを、とらないためにも関係業務の一本化という視点で組織、機構を見直すことが急務である。

さらに職員数の削減による事務の硬直化を是正するためにも、新たな組織、機構で職員の適正配置を行う必要がある。簡素で効率的な行政運営に向け、時代に即応した組織機構の再編や事務の見直しを進めるとともに、財政の健全化に努め、住民サービスのさらなる向上を図るため、原案に賛成するものである。

反対 今回の条例施行は、29年4月からと予定をされている。住民への周知並びに職員への理解が完全にとれたとは言えない。

あと3カ月、4カ月程度の時間しかない。その中で、住民への周知・理解をどのようにしていくのか。時間的余裕はないと考える。

以上の観点から、この条例に対する反対の立場で討論をさせていただきます。

みやこ町税条例の一部を改正する条例の制定について（議案第81号）

反対 営業する小規模事業者のみならず地域の生活に欠かせない軽自動車は、中古車購入者

にとっても有益である。地域経済における影響もあわせて配慮すべきことと考え、在庫している中古軽自動車の課税について減免制度の廃止ではなく存続を求めるものである。この減免制度の継続を求め、反対討論とする。

反対 町長は、改正理由を自主財源の確保としているが、町の財政はそこまで逼迫しているのか。町には、公債権、私債権を合わせ、幾ら滞納金等があるのか。29年度から徴収対策課を廃止し徴収強化はせず、逆に課税強化をする。

しかも、この制度に係る課税対象事業者は、多くは零細事業者である。地元零細事業者の支援、育成はどう考えているのか。課税強化の前にはすべきことはあるのではないか。歳出削減は十分か。無駄遣いはないか。以上、反対討論とする。

賛成 反対討論を行った2名の議員と同じような意見であるが、私は、このような議案を上げるほどみやこ町は緊迫した状況にあると考える。

来年度における一般会計予算においては、自主財源の確保に当たると判断される予算に対しては、しっかりと見直しを行っていただきたいと考えている。

町長には、来年度の一般会計予算時には全面的な改革をお願いして、賛成討論とする。

委員会審査報告

総務・産業建設・文教厚生常任委員会に付託された主な議案の審査概要を報告します。

総務常任委員会

(11月17日・12月7日・12月13日)

課設置条例の一部を改正する条例

(継続審査分)を可決

〔城井出張所廃止に伴う交通対策を求めた〕

第5回定例会で継続審査となった課設置条例の一部を改正する条例について、住民説明及び交通対策を行うことを求め可決した。

Q 人権男女共同参画課を人権男女共同参画室にし、総務課内に配置して、しっかりとした対応ができるのか。

A 総合的に統括的な施策を行うために総務課内に配置した。総務課として対応していきたい。

Q 観光まちづくり協会が、しっかりした組織になっている。観光まちづくり課が必要なのか。

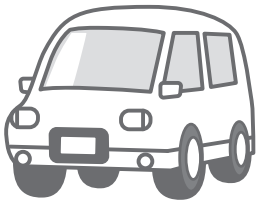
A 観光まちづくり課については、みやこ町全体を見据えた業務を行う。

権利の放棄について (住宅新築資金等貸付金に係る債権)

昭和55年の貸付分1件、総額287万5840円を債務者本人及び連帯保証人2名が死亡しており債権回収が不能と認められるため、当該権利を放棄するもの。

みやこ町税条例の一部を改正する条例を可決

車両登録をされた軽自動車は全て課税されるが、商品用の車両については、課税免除が適用されてきた。しかし、人口減少が進む中、自主財源確保のため、軽自動車税の免除規定を見直すもの。



産業建設常任委員会

(12月7日)

町道路線の変更について

地元企業が工場用地の増設をすることに伴い、徳政・神社線の一部を廃止したことによる起点変更を行うもの。

道路橋梁改良事業費1億1840万円を一般財源に財源変更

過疎債が、県の全体枠を超えたことにより、市町村それぞれの事業に対して減額されたことによる一般財源への財源変更。

(意見) 財政状況は、厳しさを増している。慎重な財政運営を求める。

文教厚生常任委員会

(12月8日)

みやこ町児童遊園条例の一部を改正する条例を可決

長川児童遊園及び下荒谷児童遊園を廃止するもの。

Q 児童遊園を廃止する理由は。

A 地元区からの要望による。

Q 児童遊園の管理は。

A 遊具の点検については、町で行つ

ている。管理については、区が行っている。

シルバー人材センター運営補助金に97万円を補正

高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を活用して、新規会員の勧誘や新規の受注促進につなげるもの。

Q シルバー人材センターへの指導について。

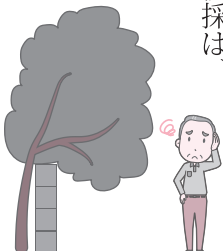
A シルバー人材センターには、町民からの指摘等があれば、その都度伝えられている。さらに町から、シルバー人材センターへ、改良、改善を求めている。

八景山自然公園道路沿いの樹木伐採に142万6000円を補正

道路沿いの電線等にかかっている木や枝を伐採するもの。

Q 安全のため、地元から道路にかかっている樹木等の伐採について要望が無いから調査をしていたきたい。

A 今回の樹木伐採は、地元からの要望に基づくものである。



議会の活動を報告します!

**議会・議会改革特別委員会
視察研修**

**10月17日 神奈川県箱根町
18日 神奈川県開成町**

町民から最も頼りにされる

議会を旨指して **箱根町**

議会改革の取り組みは平成20年6月、議会基本条例調査特別委員会を設置。平成25年3月、箱根町議会基本条例を制定。「町民に開かれた議会」を推進するため、議会の活動状況等の報告や、議会に対し、町民のみなさんからのご意見や提言等を伺う議会報告会（意見交換会）を開催しています。

通年議会導入で年初めに年間予定を配布し周知を図る。インターネット・SNSでの情報発信をはじめ、27年には、開かれた議会の実現のために、委員会の傍聴手続きの簡素化、議会キッズコーナーの設置、小学生の議会傍聴を教育委員会と取り組み実行しています。

町民参加を推進する議会の取り組みとして、「議会開催周知ポスターの貼り出し」で傍聴案内をしています。みやこ町は現在、防災無線で放送中ですが視覚に訴えることのメリットがあると思います。

「町民に開かれた議会」の実現、議会活性化に取り組む **開成町**

田舎モダンの開成町

平成21年度から議会改革推進委員会を設置し、議会改革スローガンを制定

『開成町議会・改革宣言』

議員が変われば議会が変わる。議員が変われば開成町が変わる。議員は住民の良きリーダー

平成17年には、日曜議会を町政50周年記念事業として開催。関東初・全国で4番目の通年議会をスタートさせた。全議員で構成する広報広聴常任委員会・議会報告会・議員定数削減に関してなど意見交換をしました。

**産業建設常任委員会
視察研修**

**10月26日
農林水産省・アーバンファーム**

農林水産省農村振興局農村政策部農村環境課を訪問し、鳥獣被害防護柵の設置に対する予算配分のお礼並びに事業の進捗状況について報告を行いました。また、鳥獣対策室課長補佐より、平成29年度予算概算要求の概要及び鳥獣被害防止特措法について研修をしていただきました。

この法律は、被害防止計画を作成した市町村は、財政支援・権限移譲・人材確保など必要な支援措置が講じられ、その一つとして、市町村が実施している駆除等の経費が特別交付税として八割交付されることでした。

また、鳥獣被害防止総合対策交付金の配分基準については、それぞれ審査項目及び取組内容があり、広域的に取り組んでいる市町村はポイントが高くなり配分が多くなることでした。説明を受け、本町は配分基準から考えると高ポイントとなる取組内容であることを感じたところです。

今回の研修で国は、地域住民が一体となった「地域ぐるみの総合的な被害防止対策」に、支援を行っていくという説明を受けました。また、東京都千代田区大手町にある先進農業施設であるアーバンファームを視察しました。これは、ビルのオフィス内で人口光と水耕栽培により野菜等の栽培を行っているものでした。自然災害や鳥獣等による被害など全く影響を受けない農業もあることを感じたとことです。



農林水産省での研修

**伊良原ダム対策特別委員会
神奈川県宮ヶ瀬ダムを視察研修**

10月27日

**広報特別委員会
愛媛県松前町議会を視察研修**

11月8日

宮ヶ瀬ダムは、洪水調節、水道水の供給、河川環境の改善、発電等を目的とし建設省の手によって作られたダムです。

「人と自然、都市と地域の交流・共存をめざす自然公園的機能を持った都市近郊リゾート地の形成」を基本理念として、神奈川県・地元市町村が協力しながら周辺整備を行っています。

都市圏から50kmという近郊に都市圏最大級のダムが完成し、地元と連携して拠点の整備、イベントの開催、遊覧船の運航、ダム観光放流、エレベーターの一般開放、水とエネルギー館、カーヌー、ピクニック広場、虹の妖精（噴水）等でダム湖周辺イベント開催が毎月実施され観光客数も年間平均して1



宮ヶ瀬ダム

60万人の方が来られるそうです。

ダムの大きさは、伊良原県営ダムの約7倍という日本でも最大級のダムと言うことでスケールの大きさにビックリしたというのが、本音のところでは、県営伊良原ダムも平成29年3月には、本体工事が完成予定となっております。多くのお客様に来ていただける様になりたいと思います。



宮ヶ瀬ダムでの研修

議会の審議状況や活動実態を、住民に分かりやすく知らせ、親しみやすい読者の立場に立った議会だよりの編集の在り方について学ぶため、議会広報活動の先進地である、愛媛県松前町議会に視察研修に行きました。

みやこ町では議会だよりの編集は、広報特別委員会の仕事としての位置づけですが、松前町では広報常任委員会として位置づけられ、広報活動に力を入れて取り組まれていることが分かりました。

発行にあたっての前提条件として、住民にわかりやすく、親しみやすい広報紙にすること。そのための方策として、平易な文章で、議会情報を簡潔で正確に伝える。形を整え、長文をさげ（1文30字程度）、難しい専門用語をなるべく使わないように心がける。写真、見出し、レイアウト等を創意工夫する。

また、親しみやすい議会だよりにするため、住民参加の機会を多くし、表紙・裏表紙には【働く松前の人たち】のクローズアップを基本に、町内で活

躍する人たちの生き生きとした表情を掲載する。さらに議会に寄せられた意見・要望に対し、その紹介と改善点についての報告を必ず行う。住民に関心の高い事件等があれば「特集」「企画」ものを掲載するなど、各委員が責任を持って編集に携わっていることが分かりました。

この研修で学んだことをこれからのみやこ町議会広報活動に生かしていきたいと思っています。



松前町議会での研修

活動報告

10月から12月までの議会及び議長の活動を報告します。

月 日	件 名
10月1日(土)	町立保育所ふれあい運動会
10月6日(木)	広報特別委員会、築城基地追悼式
10月8日(土)	第20回崎山ひまわり祭り
10月11日(火)	東京都江東区議会視察受入れ
10月12日(水)	京築広域市町村圏事務組合議会定例会、伊良原ダム対策特別委員会視察
10月13日(木)	広報特別委員会
10月19日(水)	林道蔵持山線開通式、広報特別委員会
10月20日(木)	小学校研究発表会
10月21日(金)	第61回福岡県へき地・小規模校教育研究大会
10月22日(土)	第6回上本庄元気まつり
10月23日(日)	グルッとみやこサイクリング
10月25日(火)	京築広域市町村圏事務組合議会定例会
10月27日(木)	第25回全国市議会議長会基地協議会九州部会総会
10月29日(土)	秋月藩土墓前法要(141回忌)、2016和太鼓フェスティバル in みやこ
10月30日(日)	みやこ町陸上競技大会「白川力記念」、第8回伊良トピア祭
10月31日(月)	京築広域市町村圏事務組合議会定例会
11月7日(月)	豊前広域環境施設組合議会臨時会
11月9日(水)	町村議会議長全国大会
11月10日(木)	筑豊横断道路建設促進期成会中央要望
11月17日(木)	行橋市・みやこ町清掃施設組合議会定例会
11月18日(金)	第47回全国過疎地域自立促進連盟定期総会、長崎県時津町議会視察受入れ
11月19日(土)	第11回みやこ町産業祭
11月20日(日)	第11回みやこ町犀川マラソン大会
11月22日(火)	福岡県町村議会広報研修会
11月23日(水)	みやこ町凧あげ大会
11月27日(日)	第54回京築ブロック保育研究大会、築城基地航空祭
11月30日(水)	年末年始特別警戒活動出動式
12月1日(木)	みやこ町職員人材育成研修発表会
12月3日(土)	第11回みやこ町人権のつどい
12月4日(日)	錦町花街道フェスタ2016
12月18日(日)	みやこ町ふれあい餅つき大会
12月23日(金)	第11回みやこ町愛郷音楽祭
12月27日(火)	京都郡町議会議長・議会事務局長会議



林道蔵持山線開通式



みやこ町産業祭



みやこ町犀川マラソン大会



みやこ町愛郷音楽祭

※12月定例議会等の本誌に掲載しているものは除いています。

Q

主要道路や河川の整備を 求める

A

環境美化に努める



飯本 秀夫
議員

名所・史跡にかかる環境整備を

Q 観光により、交流人口の拡大を目指すには、名所・史跡を取り巻く河川や主要道路の環境整備が必要と考えるが、いかがか。

A 町営河川の改修及び浚渫等は、地元要望により、順次行っているが、県営河川に於いては、除草並びに浚渫等を強く要望を行っているとともに、河川公園の早期完成を働きかけている。

Q 民間の力を活かさないか。
A 現在、河川愛護団体等による除草や植樹等で、美化に努めているので、今後も伸ばして行きたい。

また、町内一斉清掃の回数は、駐在員会と相談のなかで検討する。
Q 案内板の設置が少ないため、町内の名所や史跡が広く面として伝わらないが、案内板の設置は。
A 地方創生加速化交付金の適用が可能であれば、検討し実施する。

Q 地域イベント等の対応は。
A 指摘のように、支援内容に格差があったのは事実なので、今後は、統一した枠内で対応する。
Q 通学路の安全確保を
Q 豊津中学校正門付近は、変則交差点があり、生徒のみならず、地域住民も大変危険にさらされており、早急な改善を求む。

A 何点かの道路標識等を設置、並びに路面上に工夫を凝らす等で交通安全意識を喚起するとともに徐行を促す措置を行う。

在宅介護を充実したものに
Q 認知症は、家族・地域・行政・病院・施設等々、全員で取

組むべき問題との観点から尋ねる。
A 介護認定者数の半数以上が、認知症との診断であり、サポーターの養成は重要である。各種講習を開設すると共に、小中学校には出前講座を行っており、町単独で「生きがい」となるサービスを多々行っているが、更に充実させる。また、嘱託職員等に於ける雇用期限等については、検討し実情に合わせたい。
害獣駆除対策は
Q 防護柵補修についての支援及び狩猟者や加工技術者の育成は。
A 防護柵の補修については、産業課にて、地域代表者に補修用ネットを配布する。狩猟免許の申請者には、助成事業があるので幅広く周知していきたい。加工技術者についても、人材の育成を行うことを検討する。



今川河川敷での植樹風景



馬 勝 中 田
議 員

Q 空き家対策について

A 空き家バンク事業を推進する

空き家対策特別措置法につ

いて

少子高齢化、人口減少などの影響で空き家が増え続け社会問題になっている。平成27年5月末には、町は、危険な状態の空き家の所有者に対し、修理や撤去を命ずる空き家対策特別措置法が全面施行されました。

Q 現在、計画を策定中ですが、特定空き家に指定し法に基づき措置した場合、町の負担も大きくなることから慎重に進めたい。

A 空き家の減及び定住に繋げるためにも、空き家バンク事業を推進していきたい。

Q 空き家に対する固定資産税の徴収、徴収率について聞

A 固定資産税は、法令に基づいて課税している。徴収率については、把握できていない。

Q 空き家解体後の固定資産税の減免等は考えているのか。

A 町独自の減免制度について重要な施策であるので慎重に検討する。

Q 現在の文化財マップは勝山、犀川、豊津の文化財が入り混じっているため、町外から来たお客様は、観光ルートに戸惑っている。地域別に文化財マップを作成してはどう

A 観光客の皆さんの利便性がより一層向上するような観光ルートの具体的な構想を練りたいと考えている。

Q 八景山公園に著名人の鶴田知也・葉山嘉樹の記念碑が建立されているが、堺利彦記念碑も同じ場所に移設しては

A (教育長)、堺利彦の記念館が閉鎖されたことに伴い見学者も少なくなっている。八景山公園に移設したほうが、堺利彦の功績を広く知っていただくことになると思うので前向きに検討する。

会」を設立して頑張っている有志の皆さんに行政として支援、協力は出来ないか。

A 清掃活動等に必要ない道具等は、金額に上限を定め現物支給を行う。今後とも管理を続けていきたい。

Q 公園内の水銀灯をLEDに交換、「八景山の眺望・夜景」を眺められる新観光スポットの名所にしてはどうか。

A 防犯灯は、LEDに取り替える。山頂からの展望、桜シーズンの夜景等、関係者と協議、検討したい。

観光行政について

みやこ町は、歴史と文化、豊かな自然の恵みと地理的な特性を背景に北東九州における重要な拠点地域としての歩みを重ねてきた。

Q 公園の維持管理を「八景山公園愛護



堺利彦記念碑

Q

超少子高齢化に突入 施策は

A

可能な限り自宅での生活を維持する



浦山 公明 議員

Q 高齢者の推移、比率、取り組み、対応策を尋ねる。

A 27年度と28年度を比較すると、高齢者数は166人増、後期高齢者数は97人増、独居高齢者数は65人増。高齢化率に置き換えると35・0%から36・2%に上昇している。安心して可能な限り自宅での生活を維持し、訪問活動で注意を最大限払うようにしている。

Q 高齢者の運転事故が頻繁に起きており防止策に向けての町の周知、取り組みが急務。また、詐欺防止も含め放送による周知をすべきである。

A 子どもと高齢者に対する交通安全等について、防災行政無線等を活用し周知、喚起

をしていきたい。

少子化に伴う子育て支援は

Q 町の直近の出生人数と推移、町の施策は。

A 出生数は、26年112人、27年103人と100人台で推移している。今後も定住促進・結婚祝金、妊婦健康診査の助成、出産祝金の交付など継続し安心して子供を産み育てられる元気な町を目指していきたい。

Q 町もあらゆる方策を講じて、育児、育成に努力されているが、子ども会育成連合会に所属する子ども会の数、活動、助成について尋ねる。

A (教育長)、子ども会育成連合会に所属する子ども会の数は、47団体。活動はアジア大会、ソフトバレーボール大会、かるた大会、野外研修等を行っている。地域活動指導員が大会の企画や運営の補助などを行っている。

助成については、子ども会単位に5000円、子ども一

人に対して5000円助成している。子ども会育成連合会を支援し、地域の将来を担う子どもの健全育成に努めたい。

Q 放課後、夜間、休日を活用して、ボランティアの指導者による子供たちの体力づくりやスポーツ等を通じて行われる対話は礼儀を学ぶ場となっている。

国・県等の大会出場者の賞賛等について尋ねる。

A (教育長)、みやこ町の競技スポーツの振興、強化は、体育協会が中心となって行っている。体育協会が認定する少年スポーツ団体は16団体あり、施設利用料は全額免除を行うとともに活動費の支援を行っている。

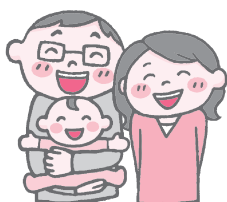
また、全国大会等に出場した場合は、顕彰のための横断幕を掲げるなど賞賛を行っている。

Q 町立小学校の屋内外行事、研究発表等を生かし、学童を持つ若い子育て盛りの父母の集まりの機会を活用して、子育て関連の要望等、生の声を聞き、意見交換の時間がとれたら、最高の育成面に寄与できるのではないか。

A (教育長)、積極的に参加し、子育てにかかわる情報交換の場としていきたい。



ソフトバレーボール大会





中山 茂樹
議員

Q デマンドタクシーの普及計画について

A 犀川地区全域への拡大計画が承認された

運動が出来ない高齢者の移動手段

Q 子育て世代に対する各種助成措置はあるが、高齢者に対する目に見える形での助成措置が少ないようだ。日常生活を送るうえで、週1回、月1回はどうしても、買い物、病院等で外出しなければならぬ。その時、手助けを必要とする高齢者がいる。

長年みやこ町に住み、子育てをしてきた高齢者にも住み心地の良い町作りの政策を考へるべきである。

平成28年度には犀川地区にデマンドタクシーを普及する計画であったが進捗状況を探る。

A 当初は西犀川地区、南犀川地区を中心に公共交通空白地域に拡大できるよう関係機

関と協議していたが、ミニバスを運行している木井馬場地区や伊良原、帆柱地区においても、バス停までの移動が困難な高齢者がいることから、旧犀川町全域に拡大するよう計画変更を行っている。

平成28年11月28日に、みや

こ町地域公共交通会議を開催し、犀川地区全域への拡大計画が承認された。今後できる限り早い運行開始を目指す。

野峠のトンネル化

Q 野峠は、未整備のため帆柱地区で行き止まり、袋小路の感がする。伊良原ダムが完成すれば見学者が予想される。野峠は、冬は凍結し人やモノの流通が不可能になる。伊良原、帆柱地区の農産物の輸送、観光振興、農業振興、経済活動活

性化、地方創生のため、様々な点で、道路整備は必要不可欠である。

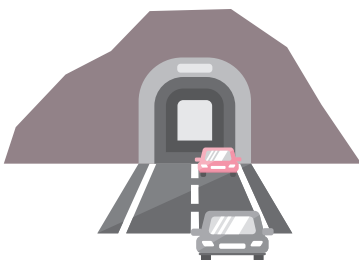
野峠は、大分県側の中津市や日田市と繋がる国道である。大分県側の市町村と連携し、トンネル化を実現すべきである。考えを尋ねる。



冬季には路面凍結し通行不能となる国道496号線 野峠付近

A 国道496号の別府、耶馬溪、行橋ルート間は、行橋市を起点とし大分県北部を結ぶ、産業、経済、観光、生活道路として重要な役割を果たす路線である。

野峠付近は、冬季には路面が凍結し通行不能となることから、道路改良・トンネル化を、道路管理者である県土整備事務所に要望している。また、「別府、耶馬溪、行橋ルート 国道整備促進期成会」に参加し国に対しても要望活動を行っているところである。実現に向け努力をしたい。



Q 教員の多忙化の現状と町の取り組みは

A 県の調査で多忙の実態がうかがわれる結果となった



直 義 義 直
議 員

Q みやこ町の教員の定数および欠員の状況は。

A (教育長)、教諭の数は145名が定数、うち32名(22%)が講師。欠員は初任者の研修時のカバーをする非常勤講師が1名欠員となっている。

Q 県の実態調査は公表されるか。

A (教育長)、結果については、公表されており、28年3月に「超過勤務削減に向けた業務改善ハンドブック」を出している。

Q 教職員組合が全国で行った調査では、中学校では1週間で53・9時間の労働時間、OECDでは38・3時間。74・2%の人で仕事が多すぎ

ると感じている。1日2時間以上残業をする人は中学校50・5%、小学校32・9%。休日に仕事している人は中学校59・3%、小学校33・2%。これらは自宅での仕事は含まれていない。

Q 教員の精神疾患で休職されている方はどれくらいか。

A (教育長)、複数おり、働く上でのストレスを抱えている先生がいることは事実。

Q 県のハンドブックではどんな対策があげられているか。

A (教育長)、学校の先生方だけでは対応が難しい。町全体としてのチーム学校、チーム教育委員会という形を考えたい。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、

図書館司書、教育相談員など配置する。

Q 外から人を派遣することもないが、原因は何か。

A (教育長)、子どもたちにかかわろうと思えばどうしても超過勤務で教材研究をするということになる。いま国に一番望みたいのは定数改善である。45人以上では町が講師を雇い、2学級やTで指導したりしている。

Q 4%の調整額を支給することで教員には残業はないことになっている。

A (教育長)、昭和41年度の調査で残業が8時間程度あったということ。4%に設定された。その後、残業が増え、調整額の増額や定数改善を国に要請している。

Q 家庭に持ち帰る仕事の実態把握など町独自の調査が必要だ。

A (教育長)、独自の調査は考えてない。町独自の対応は県と相談しながら進める。

Q 国や教育委員会からの調査やアンケート、月末の統計処理、教育委員会への報告書、研修会や教育研究会の事前レポートや報告書などが多忙化の原因になっている。文科省も認識していることだが。

A (教育長)、多いなど感じている。簡素化を県教委に要望している。

Q ストレスチェックの導入をしていただきたいが。

A (教育長)、前向きに検討したい。

他に行政組織改編についての質問。





熊谷 みえ子
議 員

Q みやこ町奨学金制度の改善を求める

A 町単独での給付型奨学金制度については、検討したい

Q 人材確保のためにも貸与制の改善を。

本来、国民の教育を受ける権利を保障するための奨学金は、若者の借金となってしまう貸与制でなく、給付制とすべき。医療・福祉など人材確保のために卒業後に、みやこ町に帰郷し、就職すれば免除にするなど検討してはどうか提案する。

A (教育長)、町の奨学金制度については、平成27年4月、

返還期間の延長など、利用しやすい制度改正を行った。町単独での給付型奨学金制度については、今後、国や市町村の動向を踏まえ検討したい。

Q 学校統合促進でいいのか

A 小学校統廃合計画の状況報告を求める。

A 犀川地区4小学校統合後の学校は基本設計を行い、教室などの配置外観など検討。豊津地区においては設置場所の検討を引き続き行う。

Q 豊津地区の小学校統合先は28年度に豊津支所が提案されている。

平成30年度の児童は、豊津小学校172人、祓郷小学校117人、節丸小学校29人と学校別の児童の推移が示されている。

豊津支所など公共施設の統廃合を「経費削減の為、統廃合を積極的に推進する」としてきました。

A 財政効率性のみから学校統合が促進されるは、一番被害を受けるのは、子どもたちである。

A 校舎など教育環境の整備充実を図り、学校教育の

みやこ町就学援助費の概要

援助項目	援助限度額	
	小学校	中学校
給食費(月額)	4,190円以内	5,010円以内
学用品費(年額)	11,420円	22,320円
通学用品費(年額)	2,230円	2,230円
新入学学用品費	20,470円	23,550円
校外活動費	3,620円以内	6,100円以内
修学旅行費	標準20,000円	標準60,000円
学校から治療の指示を受けた医療費	実費	実費

※みやこ町就学援助制度のお知らせから一部抜粋。

質の向上に努めたいと考えている。

Q 就学援助制度の改善を

A 入学準備金を入学前の3月に支給を検討すること。17歳以下の子どもの貧困率は16・3%と過去最悪といわれている。制服代など入学前にかかる費用は大きく「せ

めて入学前に支給してほしい」との切実な声。どの子どもお金の心配をせずに学べるように、改善を求める。

A (教育長)、入学準備金支給が3月の自治体もあると承知している。課題があるが、情報収集を行い、前向きに検討したい。

広域化で国保税の引き上げにならないようにする

Q 国保は高齢者の割合が高く低所得者が多いため、必然的に財政運営は厳しい。県に変わるだけで、解決するものではない。

子どもが多い世帯の均等割の減免制度の検討など求める。少子化対策の上からも必要ではないか。

A 子どもに係る均等割保険料軽減措置の導入、国庫負担率の引き上げなどの財政支援を講じるように今後も要望していく。

Q 交通弱者への支援を

A 3月には導入したい



中尾文俊 議員

Q 犀川地域での高齢者等の交通弱者への買い物や通院の支援手段として、デマンドタクシーについて、幾度となく質問してきた。3月の質問に今年度に交通手段の無い地域で実施すると答弁があった。進捗状況と実施時期は何時か。帆柱から犀川駅間のミニバスには制限がある。犀川地域全域で運行すべきだ。また、運行は曜日等で制限があるか。みやこ町外まで利用できるか。

A (町長)、犀川地区へのデマンドタクシー運行拡大の進捗状況は、交通空白地域への拡大を考えていたが、ミニバスが運行している地域についてもバス停まで距離があり、移動が困難な高齢者もあり、旧犀川町全域に拡大するよう運行計画の見直しを行い承認された。

Q (課長)、実施時期は、事務手続きがあるが、3月には導入したい。運行は、平日のみとなる。利用は、町内のみで町外への利用は考えていない。

Q 国道201号バイパスは、国などへ陳情していると聞くが進んでいない。進捗状況と今後の対応を問う。

国道496号の豊津商店街は道路幅が狭い。バイパスは、必要かつ重要だと考えるが、いかがか。

また、伊良原ダム周辺整備の森林公園や伊良トピア構想の農家レストラン・物産館が計画さ



混雑する国道201号線 勝山新町交差点

れている。伊良原学園や蛇淵の滝との観光資源と伊良原・帆柱地域の活性化のためにも、道路幅が狭くカーブの多い野峠のトンネル化が極めて必要であると考えるが、いかがか。

A 国道201号バイパスの本町区間は、路線決定すらされていない。国交省等関係機関と連携し、都市計画マスタープランを策定し早期事業化を進める。

国道496号の「八景山交差点から育徳館高校前の間」と野峠のトンネル化へ国や県へ要望し実現に努力する。地域の活性化のためには、野峠のトンネル化が先決だと考える。伊良原・帆柱地域全体の活性化に繋げたい。

Q 道路沿いのはみ出し樹木・雑草で、通行など困難な箇所を整備を所有者に要請しても、実施しない場合、一定の期間を経過した後に行政が整備できる条例の制定を昨年前向きに検討とあったが、いかがか。

A 全国的に空地・空き家が社会問題になっている。本町も町道管理上深刻である。道路法44条で「沿道区域を指定」し危険を防止するため必要な措置を命ずることができる法令をもとに条例制定を検討したい。

国道496号の「八景山交差点から育徳館高校前の間」と野峠のトンネル化へ国や県へ要望し実現に努力する。地域の活性化のためには、野峠のトンネル化が先決だと考える。伊良原・帆柱地域全体の活性化に繋げたい。



橋本 真助
議員

Q 入札の適正化の推進、基準、選定、執行の見直し改善を

A 透明性と適正化にむけ、さらなる改良と改善に取り組む

Q 指名競争入札について

A 入札への資格基準があるが規定では等級（ランク）を格付けし、対応する工事に参加すると定めているがその対応する工事とは。

Q 入札の選定要項で、施工能力、手持ち工事量、経営状況から見た施工能力での判断を誰がしているのか。

A A～D級までのランクによる資格基準を設けている。

Q 町はランク公表をしているのか。

A 公表をしていない。

Q 指名入札への選定基準は、誰がきめているのか。

A 参加選定委員会で決めている。

Q 指名入札の判断基準では、会社内の技術者の確保などは、担当課がしているのか。

A 入札の選定要項で、施工能力、手持ち工事量、経営状況から見た施工能力での判断を誰がしているのか。

Q 指名入札の判断基準では、会社内の技術者の確保などは、

Q どの段階で把握し、指名組しているのか。

A 各担当課が、指名の案を指名委員会へ出している。業者育成のため地域性を優先し指名している。

Q 育成のためと言われてはいるが、具体的な業者育成の判断するためにもランク公表をするべき。

A 業者などに不信感を持たれないよう透明性、公平性を図る上、公表する方向で進める。

Q 随意契約を行わないでもいい案件があると考えるが行政はどう把握しているか。

A 随意契約でなく競争入札でやれないものは全くないとは言えない。

Q 問題は交付金及び補助金などの既得権益と考える。既得権益の見直しをスタートしないと行財政改革や自主財源の確保につながらない。既存の既得権を審査しないといけないのではないか。

Q 指摘した懸念を払拭して指名権の乱用などと思われないうような住民周知していただき競争入札の見直しや既得権の仕分けをしていくこと。

A 仕分けはしていかないといけない。委員会をつくりながら思い切った行財政改革を進めていく。

A 指摘や意見を取り入れて、大胆にやらなければならぬと考えている。



入札会場の模様

Q

若い世代の結婚・出産・子育てへの支援策の充実を

A

優先度が高い政策として考えている



吉竹 次男 議員

Q 子育て支援策を広く町民、若い世代に情報発信していくべきだと考えるが。

A 年代層等を考慮した媒体・場所による情報提供を、もう一度原点に立ち返って進めていく。

Q 特に、子育て世代への情報発信の工夫が必要ではないか。

A 保育所、子育て支援センター等機会あるごとに説明はしているが、今後更に簡易な分かりやすい説明資料を検討していきたい。

Q 申請の簡素化、助成額の増額等はできないか。

A 随時見直し等を行ってほしい。期間、金額等も協議

していく。

第2次総合政策の進捗状況は

Q 平成28年度実施の全国学力実態調査のみやこ町の結果は。

A (教育長)、小学校では全国平均を上回っている。中学校は平均を下回るといふ傾向は変わっていないが、悪い方向には向かっていない。

Q 「特産品を生かした魅力づくりの推進」に、河内向けのこのブランド化が上がっているが。状況は。

A 特産品の「勝山たけのこ」として、今後もPRしていきたい。

Q 町職員の人材育成研修発表会で提起された報告を、今後の施策に生かすべきだと考えるが。

A 来年度の施策に実施できることは取り組んでいきたい。課設置条例の中において、職員の声を真摯に受け止め、仕事の公平さを考えていく。住

民の方々のためになることは積極的に推進していきたい。

史跡文化財整備は

Q 勝山地区の国指定古墳の整備計画はどうなっているか。

A (教育長)、国指定史跡綾塚古墳の駐車場設置は、地元



国指定史跡橘塚古墳

とも協議、前向きに検討している。説明板の改修についても設置場所の移設等を含めて前向きに検討している。国指定史跡橘塚古墳の誘導板設置は、文化財保護委員会や関係機関等と協議しながら検討していく。



柿野正喜 議員

役場本庁への アクセス道は 新規路線の基本設計を 発注している

Q 合併後いまだに拡幅なり建設が出来ない状況だが、上田地域で測量が進んでいるやに聞いているが具体的計画はあるのか。

A 要ではないか。役場機能の集約化により住民等の往来も増加が予想されるので検討する。

Q 現在、上田地域を対象に、新規路線の基本設計を発注している。

Q 変則進入路により車による事故も心配される。役場への案内表示も早急な対応が必要か。

臨時職員等の処遇

Q 臨時職員等に行政事務の依存度が上がる現状だと思うが、賃金、通勤手当の支給状況及び福岡県の最低賃金が10月1日に改定されているが、

Q 臨時職員等の賃金を改定する予定はあるか。

A 嘱託職員の賃金は別表のとおりで、臨時職員の時給及び日給の単価については、毎年最低賃金の改定に合わせて見直しを行っており、平成29年度は現在の時給770円を800円に、日給6000円を6200円に、それぞれ改定する予定である。

また、通勤手当については、現在支給していないが、他市町村の動向を見きわめながら検討する。

【別表】嘱託職員の賃金(月額)

一般事務	15万9,000円
給食調理師	16万5,000円
図書館司書	16万9,000円
保育士	18万7,000円
看護師	24万1,000円

Q 臨時職員にも研修の機会を与えるべきと考えるが実施状況を伺う。

A 人権啓発講演会や全職員を対象とした接遇研修などには参加するように通知している。

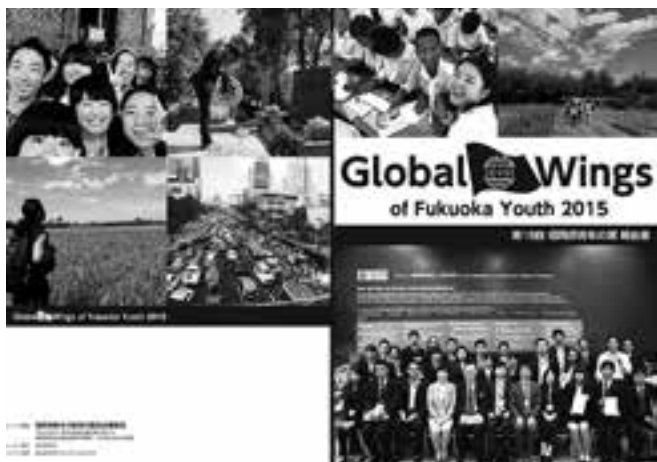
海外研修

Q 町長は、福岡県町村会による北欧3か国(デンマーク、スウェーデン、フィンランド)の視察研修に参加しているが、その目的、成果、要した費用及び参加町村を伺う。

A 諸外国における行政制度を調査研究をすることにより、行政施策への一助に資することを目的に実施された。

参加町村は8町村で、参加費用は、一人110万円でした。成果として今回学んだことは、環境、教育、福祉、人間尊重、多民族国家だと思いました。

今後は、これらのキーワードを生かした地方行政の推進に

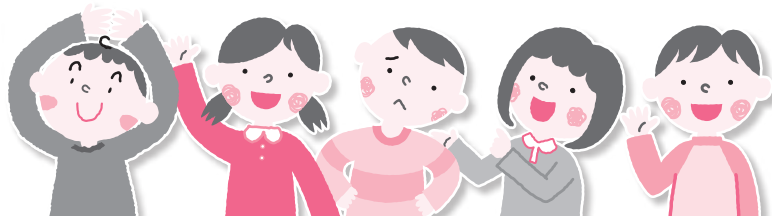


福岡県青年の翼 報告書

Q 他市町村では、職員の海外研修を行っているところがあるが、職員の海外研修については、どう考えているか。

A 町単独での海外研修は行っていないが、福岡県が実施している「福岡県グローバル青年の翼事業」へ参加させている。アジア地域での研修で26年度、27年度、各1名を参加させており国際的な視野を持った職員の育成を進めたいと考えている。

える子どもたち!



校の児童が議会を傍聴 ～

また、12月16日の議会には節丸小学校6年生の子どもたち6名が傍聴にきました。少しずつですが、ご紹介いたします。

☆議会傍聴には、5年生のときにも行ったけど、そのときは、話している内容が、さっぱり分かりませんでした。今年は、政治のニュースもたくさん見ているので話している内容が分かりました。

☆議長さんの議会の進め方が、すごくいいなあと思いました。ぼくがもし、あの場に立ったら、緊張して話せないだろうなあと思いました。

☆今回で2回目でした。2回目でも、難しい言葉を使っていたので、よく分かりませんでした。でも、みなさんが真剣に議会をしていたのは、よく分かりました。

☆私たち町民のために真剣に議論してくださっていたことは、よく分かりました。

☆一生けん命考えている人や、えん筆で、紙にたくさんメモを書いている人がいたのですごいなと思いました。

☆町民のためにあれほど多くの人が集まって話していてすごいなと思いました。それも、一人の話が長いのに、すべてを聞いて意見を言っているのを見てすごいなと思いました。



豊津小学校6年1組 議長室にて

☆学校でしている学級会とはちがい、真剣な空気で笑ったりせず、プレッシャーのある空気でした。

☆質疑応答の時間では、対応する人がすごく悩みながら真剣に答えていました。となりの人に聞いたり、資料を探したりしていて、もし私があんな状況になったら混乱してどうしたらいいか分からなくなりそうだなと思いました。

☆一つ気になったことがありました。それは、女性が一人だったことです。なぜ、男性はたくさんいるのに女性はなぜ少ないのか気になりました。

☆今日は、教科書に書いていること以外にも知らなかったことが知れました。話し合いは、自分が思っているよりも、すごく時間がかかって大切なことという事が学べてよかったです。

☆私は、議会見学をして、女の人が少ないなと感じました。日本で見ても、議員などの女性は少ないので、将来、私はできたら議員や政治に関わる仕事について、女性ならではの意見をたくさんだして、日本をもっと豊かにし、女性も安全にすめるようにしたいなと思いました。

☆一番すごいと思ったことは、ぎろんしあっていたことです。おたがいに言い合っていてよく考えられるなあと思いました。



節丸小学校6年 傍聴席にて



地域の将来を考

～ 豊津小学校・節丸小学

12月12日・13日の議会を豊津小学校6年生の子どもたち53名が傍聴に来ました。子どもたちの目に議会はどのように映ったのでしょうか。感想文を頂きましたので、

☆内容はとてもむずかしかったけど、議会は大切なことなの、よくわかりました。

☆議会は、いろいろなことを話し合うことで、いろいろなことが決まったりすることを知ることができました。

☆社会の勉強で、区役所が出した案について区議会が話し合って決めたり、税金などについて話し合ったりして決まっているということを知っています。だから、どのように話し合っているかを知ることができて良かったです。

☆議会のことをあまりくわしく知らなかったけど、今日の見学で議会のことを、少しでも分かったような気がしました。

☆ハッピー会議のときに、まねをして質問を言われても、すぐに答えるようにしたいです。

☆自分の意見をしっかり伝えていた所がすごかったです。私は、これから意見を言うときや発表するときは、自分の意見をしっかりと伝えるために、はきはきと、もじゃもじゃ話さずに行きたいと思いました。



豊津小学校6年2組 議長室にて

傍聴に来てくれて
ありがとう!
また、勉強に来てね☆



議会傍聴のご案内

住所・氏名を記入するだけ、どなたでも傍聴することができます。議員の生の声や表情を議場で見学してみませんか。

なお、12月議会の傍聴者は88名でした。

※本会議は、本庁及び各支所ロビーに設置しているテレビで中継しています。是非ご覧ください。

次回、3月定例会の招集

日は、3月1日の予定です。詳細については、決定次第、ホームページ

じゃ防災無線等でお知らせします。

らせします。



がんばっちよる

地域おこし協力隊

森林公園企画運営支援

昨年5月より、下伊良原地域で整備される森林公園の計画に関わらせていただいています。公園の全体的なデザインや、森づくりの方向性、そして今後展開していく環境教育事業の構築などについて、幅広く助言、協力をしています。公園の予定地は、今では日本中のいたるところに見られるような、



地域を見守ってきた樹齢約二百年の大木



地域で見られるアサギマダラ

手入れのされなくなった人工林ですが、ここに手を加えて、森を再生し、バランスのとれた生態系を取り戻そうとしています。

技術的に容易ではなく、年月もかかりますが、豊かな森を育て、そこから様々な恵みを得られるようにすることは、知恵をしばり、汗をかく、甲斐のある仕事です。こ

の計画が着実に進行し、豊かな森を後世に残す範となることを願ってやみません。その為には多くの方々の理解や共感や応援が大きな力となります。いろんな方と力を合わせ、みやこ町が誇れるような、優れた公園事業を築いていきたいです。よろしくお願いいたします。



防府市「もつくの森」を視察中の筆者

連絡先
地域おこし協力隊
森林公園企画運営支援
島山 昌二
TEL 0930・32・2511
みやこ町役場
伊良原ダム対策室内

編集後記

12月25日に諫山地域の風物詩として定着している恒例の第37回諫山校区一周(13・5km)駅伝大会が、例年に増し盛況に開催されました。チームは小学生を中心に8人編成で25チームが町内外から参加し、選手達は里山の風景をバツクに元気に走り抜けました。各中継点では黒山の人盛りで、各チームに声援を送っていました。私も走った昔を思い童心にかえり声援をしました。

各地の駅伝では、交通事情により開催地の変更を余儀なくされている状況の中、行橋警察署のご協力により今日まで大会が行なわれています。大会関係者の皆様、大変お疲れ様でした。(柿野正喜)



議会広報特別委員会

委員長 熊谷 みえ子
副委員長 柿野 正喜
委員 肥喜里 雄二
吉竹 次男
中山 茂樹
中本 秀夫
飯島 英壽
発行責任者 大東 英壽